



【教育目標】 自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成を
~~~~ 一人一人が輝く子どもの姿を求めて ~~~~

☆平成29年度(2017年) 保護者会役員

2017年保護者の会の役員等をお知らせいたします。園児・児童・生徒のために、1年間お世話になります。よろしくお願ひします。29日の総会で決定されます。

- 会長:村重 佳代 (7区 Seymour)
- 副会長:ホワイマンかずは(4区 Indianapolis)
- 会計:池田 有加里 (5区 Greenwood)
- 書記 :佐野 智賀 (1区 W.Lafayette)
- 書記 :入手ミサエ (3区 Carmel)
- 書記 :村林 裕子 (6区 Columbus)
- 書記 :柘植 彩 (2区 Fishers)



☆4・5月の目標

☆みんなと  
なかよくしよう

☆笑顔で  
あいさつしよう



☆配布物のお知らせ

- 1 学校便り
- 2 学習の手引き

- ・・・今後の行事計画・・・
- ・4月29日 保護者会総会
  - ・5月13日 授業参観・学級説明会
  - ・5月20日 避難訓練
  - ・6月 3日 第1回漢字検定
  - ・6月24日 1学期終業日
  - ・8月 5日 2学期始業日



☆四年生の目標(四年二組)

わたしが四年生でがんばりたいこと  
丹野 祐希

わたしが四年生でがんばりたいことは、漢字をきれいに書けるようになることです。なぜかという、漢字がむずかしいなあってきて、きれいに書けないからです。わたしが大きくなったら、お母さんみたいにきれいな字で書けるようになりたいです。

字がきれいになるために、いくつか方ほうを考えました。一つ目は、宿題の漢字ドリルやプリントで、お手本を見ながら書きじゆんに気をつけて練習することです。二つ目は、お手本をなぞって線の長さなどを正しく書けるようにすることです。三つ目は、DSのゲームで練習することです。わたしは、字をきれいに形よく書く練習ができるゲームを持っています。そのゲームで楽しく練習ができればいいなと思います。一年間、目標に向かってがんばります。



にかてなかん字

し水 大き

ぼくは、かん字がとてもにがてです。一年生二年生三年生のときも、かん字はにがてだったけれどもがんばりました。とくに、かん字で一番きれいなのは、「とめ、はらう、はねる」です。

なぜその三つがきれいかというと、その三つがとくにわすれやすいからです。それに、書くときにうまく書けないからです。だから、ぼくは、かん字がきれいです。二つ目は、かん字の形が書きにくいからです。たとえば、「飛ぶ」という字です。「飛ぶ」という字は、画数が少ないけれども、書き方がむずかしいです。だから、四年生は、書きじゆんと読み方を毎日おぼえられるまで書きます。四年生のかん字のテストが、いつも、まん点になるようにがんばります。

☆ 学校からのお願い ☆

※ ナッツ類の禁止 ※

オーチャード校(学校借用校)では、アレルギー対策として校内でのピーナッツ関係(ピーナッツ、ピーナッツバター、ナッツ、アーモンド等)の昼食、食べ物の持ち込みを禁止しています。本校でも禁止していますので、保護者の皆様ご注意の程お願いします。

※ 禁煙のお願い ※

オーチャード校の敷地内は、禁煙です。

## ☆6年1組

「カレーライス」を読んで登場人物の心情をとらえ、感想をまとめよう。



### 「カレーライス」を読んで 6年1組 澤本 和奏

この本を読んで思ったことは、ひろしの気持ちにもすごく共感できると思えたことです。最初にゲーム機のコードをぬいて怒っていたひろし。私も同じ状況ようだったら、自分が約束を守らなかったのはいけないと思うけど、やっぱりお父さんに対して口ごたえをしてしまうと思います。物語の中でひろしは長い間意地を張っていたなと思いました。私だったら、次の日にはごめんなさいって言っていると思います。なぜならひろしみたいに意地を張れないからです。だからお父さんと口をきかずにお父さんウィークをむかえた時は辛かったと思います。

でもそんな中、お父さんがかぜで体調をくずしていた時に、ひろしがとっさに「ぼくが作るよ。」と言ったのは、「ごめんなさい。」の代わりだったのかもしれない。だって、「ごめんなさい。」ははずかしくてなかなか言えないと思うからです。でもその一言がきっかけで、お父さんと一緒にカレーを作って、気づいたら仲直りしていたので理想的です。でもやっぱり、ひろしのお父さんのように、私のお父さんも私のことを子どももあつかいしてぶつかってしまうことがあるけど、気づくと仲直りしているのが家族の不思議なんだな、と思いました。

### 「カレーライス」を読んで 6年1組 近藤 和暉

ぼくがもしこの物語をお父さん目線から見ると、息子がカレーを作って仲直りしてくれたことがとてもうれしかったと思います。自分がかぜをひいた時、いっしょにカレーを作ってくれる。すねていて、なかなか伝えられない気持ちをさりげなく伝えてくれてうれしいのは、23ページ『「いや、でも・・・。」と言いかけたお父さんは、少し考えてから「まあ、いいか。」と笑った。』に表れています。お父さんはきっと、「まずくても、息子が仲直りのためのカレーを作ってくれるんだからな。」と思っていると考えられます。25ページに「お前、もう『中辛』なのか。」と書いてあります。これは、息子の成長におどろいている、かつ、喜んでいいるのだと思います。

ぼくは、ひろしとお父さんの関係の中、お父さんは息子が素直にあやまってくれるうれしさと、息子が大人になってきているうれしさの、2つのうれしさにさりげなく感動しているお父さんは、この物語の面白いところだと思います。

### 「カレーライス」を読んで 6年1組 鈴木 涼花

わたしは、甘口と辛口の意味について説明します。ひろしは30分のゲームの時間を破ってお父さんがコードをぬいたことにおこっています。しかし「お父さんウィーク」の時にお父さんがかぜをひきます。そして、ひろしがカレーを作ろうとします。お父さんは甘口で作ろうとしたけど、ひろしは中辛でいいと言います。お父さんはびっくりします。けっきょく、中辛のカレーを作ります。

最後に「ぼくたちの特製カレーはぴりっとからくて、でもほんのりあまかった。」と書いてあります。カレーはちょっぴりからかったけどほんのりあまかった、ということは、お父さんとの仲直り出来てうれしくて、本当はあまくないけどお父さんの愛情であまかった、という事を書いてあると思います。

### 「カレーライス」を読んで 6年1組 村重 太陽

ぼくは、このカレーライスという物語を読んで、親にあやまりたくないひろしの気持ちに共感した。なぜぼくがあやまりたくないかという、ぼくはプライドが高く、親にあやまると負けを認めることになるからである。実はぼくもひろしと同じような経験をしたことがある。ある土曜日の夜、ぼくはお兄ちゃんとサッカーゲームをしていた。お兄ちゃんはとても強いので、ぼくはぶつぶつ文句を言っていた。ぼくは負けずぎらいで短気なので、いつも自分が負けそうになると文句を言う。そして、お母さんはぼくのそういう所がきらいだそう。だからお母さんはデータを残さずに電源を消してしまった。ぼくはおこって自分の部屋にとじこもった。しばらくしてぼくはあやまろうかなと思ったけど、あやまれなかった。文句を言った自分も悪いと思ったけれども、大切なデータを消してしまったお母さんの方が悪いと思ったからだ。そしてぼくのお母さんはすぐおこるけれど、すぐに忘れるのも知っている。だから、あやまらなくてもしばらくたてば忘れるだろうと分かっていた。だから、あやまらないと心に決めた。でも、ぼくのお母さんのすごいところは、データを消すようなことをしても堂々としているところだ。もしぼくのお母さんが、ひろしのお父さんの様にご気げんを取ったり、お父さんにつげ口したりしていたら、ぼくはますますいやな気持ちになっていただろう。ちなみに、お母さんはこの物語を読んで、「あー反抗期なんだね、この子。まあでも、反抗期は成長の証よ。」と言っていた。なるほど、それが甘口カレーから辛口カレーへの成長なんだな、となっとくした。ぼくが中辛のカレーを食べられる様になるのはいつだろう。



### 「カレーライス」を読んで 6年1組 柘植 航太

ぼくはこの物語を読んで、お父さんはやさしいと思います。なぜならお父さんはひろしが30分の約束をやぶってゲームをしていた時、ひろしの目が悪くなるなどのことを考えて、コンセントをぬいたのだと思います。でもこの時のひろしにも共感できます。ぼくもセーブをさせないで終わらせられると、セーブさせてよとおこると思います。次にお父さんは、ひろしがすねているとかんちがいして、「ひろしはまだすねているのか。」と落ちこんでいました。そういうことでお父さんのやさしさや、ひろしに対する愛情が分かります。さらに、3日目の朝、その前の夜にかぜがみでさらにねむたかったのに、ひろしに朝ごはんを作って、おかずも作ってくれたし、火は危ないからダメ、など言ったのも、ひろしがやけどをしたら危ない、という考えがあったからかもしれません。ぼくはこの物語を読んで、お父さんはやさしいという印象が残りました。



